

みやぎ仕事人列伝

— 新聞記事体連載広告のご案内 —



河北新報社が令和のスタートに合わせて始めた、ビジネスの最前線で日々汗する宮城の仕事人にスポットを当てる広告連載「みやぎ仕事人列伝」。

仕事の内容や実績はもちろん、今に至る軌跡にフォーカスし、読み手のビジネス指南書にもなるコーナーです。

記事により、直接的なビジネスの拡大に貢献するだけでなく、求人・採用につながる貴社の認知度アップ、従業員やその家族らの満足度向上も視野に入れた企画です。

もちろん、連載形式でのご用命も承ります。

より多くの経済人の皆さんにご活用、ご登場いただき、東北・宮城のビジネスを盛り上げる一役となればと思います。ぜひ趣旨をご理解賜り、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

大好評の
「読み物」企画

“企業のPR”

“求人・就職活動中の

学生や親へのアピール”

“従業員満足度のUP”

など様々な用途でご利用いただけます！

 河北新報 とは…

宮城県内の読者シェア72.86%を誇る地方新聞社。
東北の経済情報や身近なニュースはもちろん、東日本大震災後、「被災地の新聞社」として防災・減災報道にも力を入れている。

<http://www.kahoku.co.jp/>

宮城県内
読者シェア

73%

料金・掲載イメージ

媒体

河北新報朝刊
43. 1万部

掲載日

掲載日はご一任いただきます。
取材後、約1カ月の制作期間を
経ての掲載が目安となります。

みやぎ

仕事人 列伝

地元経済界では目を集める経営者なら自身の歩みや仕事への心構えなどを聞く新シリーズ。初回は衣類情報誌「ビック・ママ」(仙台市)の守井嘉朗社長(49)にフォーカスします。

(3回続き)

◇
すそ上げ、ボタン付け、シルエット変更…。儼んたりサイズが合わなくなった服の「お直し」を請け負う店を、国内外に79店展開する。数百年、数千円の針仕事をこつこつ積み上げ、年商19億円。創業の地である仙台を拠点に、華やかな企業を築いた。出発点は父親を含め親い手4人の家内職だった。地元スーパーの店員で、販

ビック・ママ

仙台市

守井 嘉朗さん(49) 上

急成長の陰に「気遣い」



守井嘉朗さん(49)は、仙台市に本社を置く「ビック・ママ」の社長。創業20年、国内外に79店を展開する。数百年、数千円の針仕事をこつこつ積み上げ、年商19億円。創業の地である仙台を拠点に、華やかな企業を築いた。出発点は父親を含め親い手4人の家内職だった。地元スーパーの店員で、販

売された服のお直しを担う店子。「もっと多くの人に気軽に利用してもらえる店にしたい」。大学卒業後、家業を継いで8年目の1999年、消費者が自ら衣類を持ち込むスタイルの店を、当時の141(現仙台三越定評守通り館、青葉区)にオープンさせた。

売れる人が続々と来た時直前に乗り、一気に支持を上げた。2014年にはアジアにも進出。富裕層が増えるシンガポールやタイ、カンボジアに計10店を備える。自らは縫製のノウハウも技術もない。それゆえに「経営判断こそが自分の役目」と神経を研ぎ澄ます。例えば、14年に百貨所経営に乗り出したのも、約300人いるスタッフの多くが女性で、「結婚や出産を理由に離職してはしなかったから」。結果は古と出て、いまや7割を数える保育園事業は、お直し事業に次ぐ経営の柱となった。



右肩上がりの成長の陰で最も心を砕いているのは「自分の言葉」と言う。「相手は社員でも取引先でも、言葉遣いから言い回しまで、ものすごく気を使っている」。例えば、持論を被る場合、そのまま「自分は〇〇と考えます」とは言わない。「適例は〇〇だそうぞう」「私は××と習いました」など一般化、主語をオブラートに包むことで「大事なのは好かれることより嫌われないこととの信条を貫く。だから、会社を急成長させても自慢話はない。持ちネタは自らの失敗談。「長く付き合ってもらえれば、うちが役に立てるチャンスがいつか来る。そのためには、まずは嫌われないようにしたい」。四半世紀で会社の年商を200倍にした男は、自らのプライドは二の次に、人の顔に飛び込み続ける。

大事なのは、好かれることより嫌われないこと

守井はあす掲載 企画・制作/河北新報社営業局

5月2日掲載/サイズ: カラー5段(タテ169mm×ヨコ381mm)

料金

1回あたり50万円(消費税別、取材・原稿制作費込)

※複数回にわたって掲載することも可能です。
※掲載面はご一任いただきます。

掲載紙面を冊子やウェブサイト用に再編集し、採用活動や社史の一部としてご活用いただくことも可能です。また、動画制作もお受けしております。詳細をお伺いした上でお見積りをお出ししますので、お気軽にご相談ください。

掲載までの流れ

申込

お気軽にお問い合わせください。

取材制作

取材日を決定(1日のみ)し、取材・撮影に伺います。

校正

貴社ご担当者様の目で最終チェック。

紙面掲載!

お申込み、お問合せ

河北新報社 営業部 担当: 大泉

☎ 022(211)1318/平日10:00~17:00
✉ d-ooizumi@po.kahoku.co.jp